

# 大崎市植樹活動への参加

山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策

## 植樹活動の目的

大崎市鳴子温泉鬼首で毎年開催されている「おおさき未来の森づくり」は、森林の持つ多様な役割を学びながら、大崎耕土を潤すを旨るとともに、**水源のかん養、地域の持続的な発展**の為に毎年行われております。植樹場所は鳴**水源地域の森林保全**子ダム上流の地域に位置しており、弊社社員も**地域の水資源の保護・流域治水の一環**として、毎年植樹活動に参加しております。

## 植樹活動の様子



サクラやケヤキの木を植樹

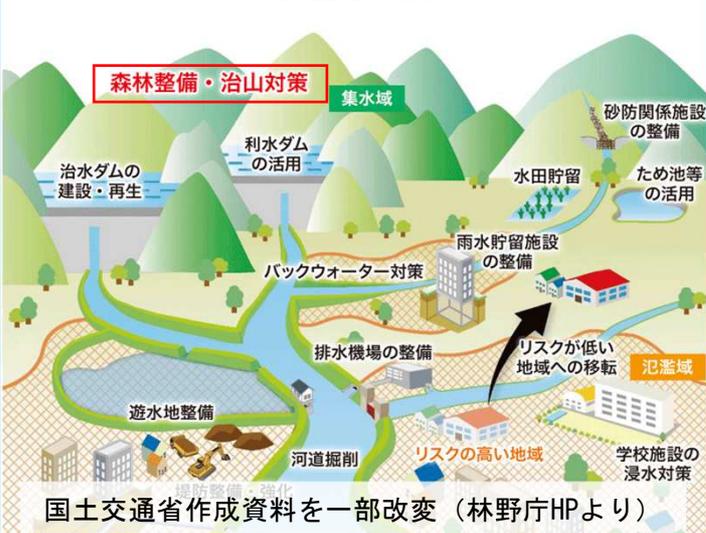


参加者の集合写真

## 流域治水と植樹の関係とは

流域治水とは、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダムの建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる**流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う**考え方です。植樹を行うことで**森林が整備**され、森林が持つ保水力を生かすことで**洪水や渇水の緩和、土砂災害を防止**する等の治水対策に繋がっています。

### 流域治水の取組



### 森林の役割



15 陸の豊かさも守ろう



SDGSの取り組みとして、植樹活動を行うことで森林の保護、地球温暖化の防止に貢献します。

山地の保水機能向上、土砂・流木災害対策



### 山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策

流域治水と植樹は、水の管理や防災、生態系等を守りとても重要な役割を持っています。今後も、植樹活動を通じて地域の水資源を守り、流域全体の環境保護の為に活動を行ってまいります。